

# 一泉

発行所  
〒921 金沢市泉野出町  
3丁目10-10  
金沢泉丘高等学校内  
一泉同窓会  
電話(0762)42-0211  
定価 1部 200円  
橋本清文堂

## 母校創立 九十周年記念 特集号

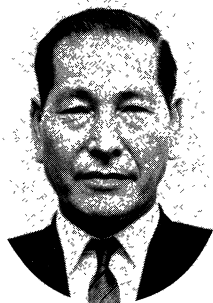
### 創立九十年の伝統と誇り

関東一泉同窓会会長

浦

茂

(一中三十四回卒)



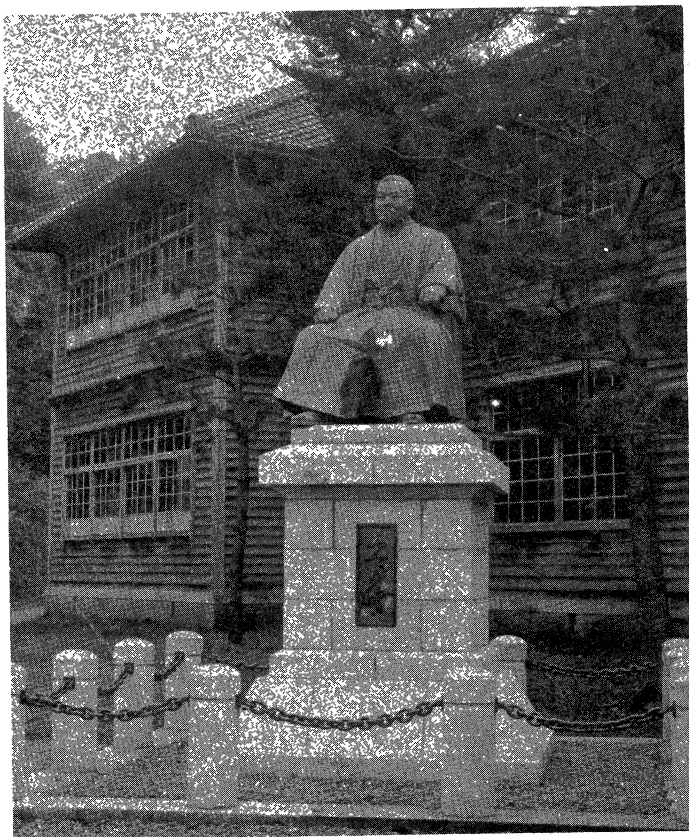
も断絶することなく、九〇の年輪を重ねた伝統の精神と、郷土北陸の風土に培われた豊かな個性が、母校の校風と同窓生を育ててくれたように思う。そしてその本質は漲る勉学心

と陶冶性でなからうか。最近発表された国公立二二大学への泉丘からの進学、合格率に象徴される向学心、それに社会のあらゆる分野に活躍しておられる同窓の質実にして環境に適応する姿に窺われる陶冶性、ここに一泉の特色があるように感ずる。

若さに萌える泉丘生に「科学に挑戦する勇氣」を示唆した木村珪二氏の「逆流」の像などが精神的支柱となつて、私共の心底を照らしている。また、厳霜碑文を書かれた前田利為氏は百万石の後裔、四二年前にボルネオで罎狩りに連れていって戴いた私の郷兄の大先輩、このような先輩先人の母校や卒業生に対するご指導とご眷顧の積み重ねがあり、また星霜九〇年、師弟一如となつて校風を磨き、共に学窓に励んだ連綿たる結末でもあろう。

卒業生二万有余、毎年三五〇名の新進を加えている私共の母校は、待望の新校舎も完成し、ここに創立九〇年を迎えた。地元石川県に次ぐ多数の卒業生を擁する関東一泉同窓会の各位と共に、心から慶祝申し上げます。

私共は誰しも、金沢一中や泉丘高校に学んだことに強い郷愁と誇りをもっている。明治、大正、昭和と激動の時代を経て、戦後の学制改革に



関東一泉同窓会は当然のことながら、官界、財界、学界、芸術文化等、あらゆる社会の人材を網羅しており、極めて多彩である。特に明治、大正、昭和と三世代にわたって、先輩と若い新進が親和同心の雰囲気をかもしていることは「力を合せ睦み合い世の荊棘を拓くべし」の校歌そのものが顕現されているように思う。この九〇周年を壽ぐと共に、これを一つのふしとして母校の発展を願ひ、同窓同友が気楽に集り、懐しく語り、胸襟を開く触れ合いの場を広め、とくに若い方々の潑刺とした着想で、同窓の輪を広めたいと念願いたします。

